

2023年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 弥富市商工会

| 事業名 | 事業概要(背景・目的) | 事業実績 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | | | | | | | 備考 | | | |
|-------------|--|--|-----------------|-----------------------------------|-------|---------------|-------------------------------------|--------|----------------|---|-----------|-------------|------------------------|----------------------|---|--------------------------------|--------------------------------|---|------------|
| | | | | 目標① | | | 目標② | | | 得られた効果 | | | ABC評価 | | | | | | |
| | | | | 指標 | 目標数値 | 実績数値 | 指標 | 目標数値 | 実績数値 | 総合評価 | 事業実施評価 | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | | 目標① | 目標② | 今後の展開・改善点等 |
| 巡回・窓口相談指導事業 | 地域内事業者の大多数を占める小規模事業者の経営基盤の安定強化や、新規創業・経営革新への積極的支援を実施し、コロナ禍での事業継続のための個別支援を行うため、巡回及び窓口において相談指導を行う。 | 巡回窓口指導実企業数 79社 (内創業8社 非会員42社) 巡回窓口指導延件数 1,423件 (内創業11件 非会員63件) 課題解決提案件数 44件 | 小規模事業者 | 指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 158.1%) | 900 | 実績数値 1,423 | 指標 課題解決提案件数 (達成度 146.7%) | 30 | 実績数値 44 | 小規模事業者の良き相談相手として、事業環境が変化中の中、事業継続を支援するため、各種施策普及等に努めた。専門派遣を活用しながら従業員支援により課題解決が図れ、小規模事業者の持続的発展に貢献することができた。 | 総合評価 A | 事業実施評価 A | 自己評価 A 調査結果 A | 満足度 A 必要性 A | 補足 | 目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり | 目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり | 小規模事業者支援の柱であり、事業環境に対応し事業継続が図れるよう引き続き事業を実施する。また、小規模事業者の課題把握と課題解決策の提案を行う。 | ○ |
| 記帳継続指導事業 | 商工会の職員が個人事業主等を対象に正しい記帳法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化計数管理による経営力の向上に結び付ける。 | 指導対象者数 107人 指導延日数 771日 指導延回数 853回 | 小規模事業者 | 指標 記帳継続事業所数 (達成度 101.9%) | 105 | 実績数値 107 | 指標 (達成度 %) | | | 適正な税務申告と自計化に結び付き、日頃から計数感覚を養うことができた。また、記帳機械化により事業者の経理事務の軽減と適正な税務申告・電子申告に繋がった。 | 総合評価 A | 事業実施評価 A | 自己評価 A 調査結果 A | 満足度 A 必要性 A | 補足 | 目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり | 目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり | 小規模事業者の記帳事務軽減と計数把握による経営力の向上が図れるため積極的に記帳機械化の普及を推進する。 | ○ |
| 講習会事業 | 多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経営・労働・情報化等の知識習得や、時宜に即したテーマでの講演等、事業者の資質向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。 | 講習会開催回数及び受講者数 集団 24回 受講者数 333人 個別 28回 受講者数 112人 | 小規模事業者 | 指標 集団受講者数 (達成度 133.2%) | 250 | 実績数値 333 | 指標 個別受講者数 (達成度 93.3%) | 120 | 実績数値 112 | 集団講習会についてはインボイス制度の周知を図り登録に繋がった。4つの業種別講習会を実施し経営力向上に繋がった。個別相談会ではインボイス制度・補助金申請の支援を行うことができ、環境変化に対応することができた。 | 総合評価 A | 事業実施評価 A | 自己評価 A 調査結果 A | 満足度 A 必要性 A | 補足 | 目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり | 目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり | 個別講習会も含め実務的な講習会を開催する。特に創業希望者が増えているため創業者向け講習会の充実を図る。 | ○ |
| 地域産業祭事業 | 各種のお祭り・祭典などを開催することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し地域の産業や地域資源、観光資源をPRすることで地域の総合的な振興を図ることを目的とする。 | やとみ青空市(4月) 800人 海南こどもの国 金魚まつり(7月) 来場者数 3,500人(1日のみ) 海南こどもの国 秋まつり(11月) 来場者数 6,723人(2日間合計) 桜まつり中止(4月) | 小規模事業者 祭典来場者 | 指標 やとみ青空市来場者数 (達成度 40.0%) | 2,000 | 実績数値 800 | 指標 金魚まつり・秋まつり来場者数 (達成度 36.5%) | 28,000 | 実績数値 10,223 | 地域住民に対し商工会及び各事業所のPRをすることができ、参加事業所間の交流にも繋がった。また、創業PRコーナーを設けることで、創業への機運醸成が図れるとともに、実態把握ができた。 | 総合評価 B | 事業実施評価 B | 自己評価 B 調査結果 D | 満足度 B 必要性 B | 補足 やとみ青空市は雨のため、金魚まつり・秋まつりについては開催期間の内商工会が休業日のみイベントしたため目標値を下回った。 | 目標① 上げる 実施方法① 変更する | 目標② 下げる 実施方法② 変更する | 青空市と秋まつりを統合し、新たに桜まつりを評価目標に加える。地域住民に対し商工会や事業所のPRにつながるため、開催方法を模索しながら実施する。 | |
| 地域振興事業 | 地域懇談会を開催し、地域の実態を把握するとともに地域経済振興に関する施策を検討するなど、地域活性化に向けた各種事業に取り組み、地域振興、地域商工業の発展に寄与することを目的とする。 | 支部事業 9回 参加者数 148名 ごみ袋等販売契約者数 84事業所 | 小規模事業者 | 指標 支部事業参加者数 (達成度 370.0%) | 40 | 実績数値 148 | 指標 ごみ袋等販売契約者数 (達成度 100.0%) | 84 | 実績数値 84 | 支部総会をはじめ支部事業等の実施により、情報収集やPR活動ができた。また、弥富市指定のごみ袋業務を行うことで、地域住民の利便に繋がることができた。 | 総合評価 A | 事業実施評価 A | 自己評価 A 調査結果 A | 満足度 A 必要性 A | 補足 | 目標① 上げる 実施方法① 現行どおり | 目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり | 地域内の交流の場として、地域ごとの課題や情報収集、県市の施策・商工業事業のPRや要望を聴く機会としても必要であるため、開催方法を工夫したうえで継続して実施する。 | |
| 商店街振興事業 | 消費者の生活形態の変化、郊外型大型店等への購買力流出など、地元中小事業者が抱える様々な経営課題解決に向け、地域活性化、集客力向上につながる魅力あるイベント事業の実施等、地元事業者の活性化を通じて地域振興、街づくりを寄与することを目的とする。 | 街路灯本数(補助金申請分) 235本 | 小規模事業者 | 指標 市補助金電灯料申請本数 (達成度 100.0%) | 235 | 実績数値 235 | 指標 (達成度 %) | | | 廃業者の増加や商店街の衰退により、管理負担割合が大きくなってきているため、弥富市の街路灯電灯料補助金により負担の軽減を図った。また街路灯の維持・管理を図ることで、環境美化や地域の防犯に役立った。 | 総合評価 A | 事業実施評価 A | 自己評価 A 調査結果 A | 満足度 A 必要性 B | 補足 | 目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり | 目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり | 老朽化や廃業による管理者不在などの街路灯を整理する。商店街及び個店の魅力アップ、また、環境美化や防犯にも繋がる事業のため引き続き実施する。 | |
| 地域産業活性化事業 | 地域商工業者の声を聞き、地域の特性を活かした地域資源の活用や企業の発展及び地域産業の活性化に繋げることを目的とする。 | 会員交流研修会 1月18日 参加人数 52人 | 小規模事業者 | 指標 参加人数 (達成度 104.0%) | 50 | 実績数値 52 | 指標 (達成度 %) | | | 昨年に引き続き開催、各地域や異業種間での出会いの場として交流を深めることが出来た。また、商工会のPRも図れ、スムーズな事業運営に役立った。 | 総合評価 A | 事業実施評価 A | 自己評価 B 調査結果 A | 満足度 A 必要性 A | 補足 | 目標① 上げる 実施方法① 現行どおり | 目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり | 異業種交流の場となり好評なため、引き続き研修会を実施する。また、多くの参加者が得られよう工夫しながら実施する。 | |
| 青年部・女性部事業 | 社会福祉活動を通じて地域との関わりを持つことで地域社会の発展に寄与すると共に、将来、地域のリーダーとなる人材を創出する。また、部員同士の交流により各々の経営改善の機会を創出する。 | 青年部総会及び全体会議等 21回 157名 女性部総代会及び役員会 5回 66名 研修会等 5回 99名 他に海部支部事業、県連事業に参加 | 小規模事業者 | 指標 参加人数 (達成度 146.4%) | 220 | 実績数値 322 | 指標 (達成度 %) | | | 青年部として、事業計画の立案・実施を通じて、経営者としての資質向上に繋がった。商工業に携わる女性として必要な教養、資質向上に繋がった。また、活動を通じて地域住民へのPRが図れ、女性や若手経営者、後継者が集まることで、商工会事業の活性化に繋がった。 | 総合評価 A | 事業実施評価 A | 自己評価 A 調査結果 A | 満足度 A 必要性 A | 補足 | 目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり | 目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり | 地域振興活動を通じて部員間の結束が強まるとともに部員としての意識も高まり地域の活性化にも寄与するため、引き続き実施する。部員になることのメリットと活動内容のPRを図り、部員増と参加者増に努める。 | ○ |

2023年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 弥富市商工会

| 事業名 | 事業概要(背景・目的) | 事業実績 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | | | | | | 備考 | | | | |
|------------|--|---|--------|---|------|------|---------------------------|------|--|--|-------|--------|------|------|-----|------------|-----|---|--|
| | | | | 目標① | | | 目標② | | | 得られた効果 | ABC評価 | | | | | 今後の展開・改善点等 | | | |
| | | | | 指標 | 目標数値 | 実績数値 | 指標 | 目標数値 | 実績数値 | | 総合評価 | 事業実施評価 | 自己評価 | 調査結果 | | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② |
| 部会委員会事業 | 商業・建設工業などの各部会や必要に応じた活動を行うことで、情報交換や交流の機会を創出し、参加企業の発展に資することを目的とする。 | ・商業部会 総会、役員会等 6回 21名 ・建設工業部会 総会、役員会等 6回 27名 ・食品部会 総会、定例会等 8回 638名 | 小規模事業者 | 参加人数 (達成度 207.9%) | 330 | 686 | 健康診断参加事業所数 (達成度 %) | 目標数値 | 実績数値 | 同業種の集まりのため、共通する課題を多く抱えており、同業種ならではの実務的な情報交換の場となり情報収集・課題解決に繋がった。 | 総合評価 | A | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 情報交換の場となり事業継続のきっかけづくりになるため、引き続き事業を実施していく。ネットワークづくりや事業所のPRを図れる事業を充実させる。 |
| 福利厚生事業 | 中小零細企業の経営や雇用の安定を図るために各種共済制度の普及や従業員の福利厚生を支援することにより、企業の健全な育成に資することを目的とする。 一年に1回健康診断の実施義務があるが、小規模事業者等においては、なかなか受診する機会がないため、商工会が主体となり受診機会を提供することで健康増進し、安定的な企業経営を図ることを目的とする。 | ・中小企業共済加入者数 88口 ・健康診断受診事業所数 23事業所 | 小規模事業者 | 中小企業共済加入者数 (達成度 293.3%) | 30 | 88 | 健康診断参加事業所数 (達成度 92.0%) | 25 | 23 | 各種共済制度により災害時の不安軽減や、人手不足解消にもつながる福利厚生の充実に役立つことが出来た。 また、加入による手数料収入により自己財源の確保に繋がった。 健康診断事業では受診機会を提供することで、従業員の福利厚生の充実に繋がり、経営の安定に繋がった。 | 総合評価 | A | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 自己財源確保及び事業所の福利厚生の充実が図れ、人材確保により経営体制の安定するため、引き続き実施していく。健康診断事業については周知に努め、より多くの事業所の参加を図る。 |
| 労働保険事業 | 事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種届出等の事務手続きを行うことにより中小事業主の事務負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。 | ・労働保険受託事業所数 119事業所 | 小規模事業者 | 受託事業所数 (達成度 95.2%) | 125 | 119 | 指標 | 指標 | 労働保険に関する事務の受託を通じ、適用促進や適正な徴収の促進を行うことが出来た。また、国・県の各種労働施策の普及及び利用促進にも繋がった。 | 総合評価 | A | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 企業の事務処理軽減が図れるため引き続き実施する。労働保険の適正加入による雇用人材確保に繋がってもらうため、制度普及・加入促進を行い、受託事業所の増加に努める。 | |
| 税務関係団体指導事業 | 青色申告会・法人会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動を支援することで国・地方公共団体・地域社会へ貢献し、ひいては商工業の活性化に資することを目的とする。 | ・法人会会員数 170人 ・青申会会員数 269人 ・記帳指導 2回 ・年末調整指導 2回 ・決算申告指導 3回 | 小規模事業者 | 法人会・青色申告会会員数 (達成度 97.6%) | 450 | 439 | 指標 | 指標 | 税の啓発や租税教育を推進する青色申告会と法人会との事業運営の連携、協力を行うことで、ネットワークづくりと情報交換の活性化が図れ、小規模事業者の経営力向上に寄与することが出来た。 | 総合評価 | A | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 商工会との連携事業による相乗効果のメリットを強調することで、会員数の増加に努め、組織力強化を図り、地域社会に貢献する。 | |
| 人材育成事業 | 地域の総合的な改善発達を図ることを目的として、珠算振興と将来の経営者としての人材育成に資するため全国選と県選主催の珠算検定事業を実施する。珠算能力のより一層の向上に役立てるため支部選抜珠算大会へも参加する。 | ・珠算検定試験 4回 8名 ・海部商工会選抜珠算競技大会参加 1回 10名 | 児童・生徒 | 検定受験者数及び大会参加者数 (達成度 90.0%) | 20 | 18 | 指標 | 指標 | 青少年の健全な育成や経営者としての人材育成、珠算振興に繋がることが出来た。 | 総合評価 | A | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 地域の将来を担う青少年の人材育成、経営者としての能力向上に繋がることから、引き続き実施する。 | |
| 若手後継者等育成事業 | 地域経済を支える小規模事業者の減少対策として若手経営者・後継者の経営力向上を目的として、セミナーを開催し、スムーズな事業継承と経営者としての資質を養う。 地域の小規模事業者の指導者となる人材育成のため、青年部・女性部の交流機会として全国大会や中部ブロック大会に参加する。 | ・講習会等 6回 36名 ・青年部全国大会参加者数 2名 ・女性部中部ブロック大会参加中止 ・参加者満足度 100% | 小規模事業者 | セミナー参加者及び全国大会・中部ブロック大会参加者数 (達成度 90.5%) | 42 | 38 | 指標 | 指標 | 参加して満足した者の割合(%) (達成度 142.9%) | 毎回テーマについて自身の考えを発表し講師と深掘りすることにより、人に伝える力や人の意見を聞き取る力が付き、経営者としての資質向上が得られた。全国の商工会青年部の代表との交流や先進的な事例を学ぶことで、参考とすることができ、見識も深めることが出来た。 | 総合評価 | A | 自己評価 | 調査結果 | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 情報共有を図ることができ、地域のリーダーとしての自覚が生まれるので、中部ブロック大会へは積極的に参加する。連続形式のセミナーは満足度は高かったが、参加できない時もあるため経営者の意欲向上に繋がる少人数のセミナーでなく、個別対応も検討したい。 |